

# 平成26年【第2回】 「いわて復興ウォッチャー調査」結果報告

## 1 目的

東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある方々の協力を得て、復興感に関する調査を四半期(3ヶ月)に1回実施する。

## 2 調査の概要

### (1) 調査対象

岩手県の沿岸12市町村に居住又は就労している方153名  
※原則として、毎回同じ方を対象に調査を実施

### (2) 調査方法

郵送法(郵送による発送、返信用封筒による返送)

### (3) 調査対象時期

平成26年5月(次回調査は平成26年8月予定)

### (4) 調査項目

問1 被災者の生活の回復に対する実感 (生活の回復度、直近3ヶ月間の進捗状況)  
問2 地域経済の回復に対する実感 (地域経済の回復度、直近3ヶ月間の進捗状況)  
問3 災害に強い安全なまちづくりに対する実感  
(災害に強い安全なまちづくりの達成度、直近3ヶ月間の進捗状況)

### (5) 回収結果

有効回収率 85.0%(130名/153名) <前回 85.0%(平成26年2月調査)>

### (6) 回答者の属性

#### ①性別

性別	人数	割合
男性	89	68.5%
女性	40	30.8%
不明	1	0.8%

#### ②地域別

地域	人数	割合
沿岸北部	38	29.2%
沿岸南部	91	70.0%
不明	1	0.8%

#### ③年齢別

年齢別	人数	割合
39歳以下	24	18.5%
40歳代	33	25.4%
50歳代	45	34.6%
60歳以上	27	20.8%
不明	1	0.8%

#### ④住宅被害の有無

被災有無別	人数	割合
被災あり	72	55.4%
被災なし	53	40.8%
不明	5	3.8%

#### ⑤ 職業・所属等

- ・ 地域団体・郵便局関連(応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など) 49名(37.7%)
- ・ 教育・福祉施設関連(小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など) 37名(28.5%)
- ・ 産業・経済・雇用関連(漁業・農業従事者/就業支援員等雇用支援機関の関係者/金融機関の関係者など) 43名(33.1%)
- ・ 不明 1名(0.8%)

#### ■参考■

- 「回復度」「達成度」とは、震災以降における全体の回復状況についてお尋ねしています。「進捗状況」とは、直近3ヶ月の進み具合についてお尋ねしています。
- 沿岸北部とは、洋野町・久慈市・野田村・普代村・田野畑村・岩泉町の6市町村、沿岸南部とは、宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市の6市町です。

※ 調査結果の集計・分析にあたっては、岩手県立大学総合政策学部の協力を得て行っています。  
※ 掲載する割合(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

### 3 調査結果の概要(1) 被災者の生活の回復に対する実感

○被災者の生活の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が55.8%と前回（55.9%）と同水準となり、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は17.8%と前回（20.9%）を3.1ポイント下回った。

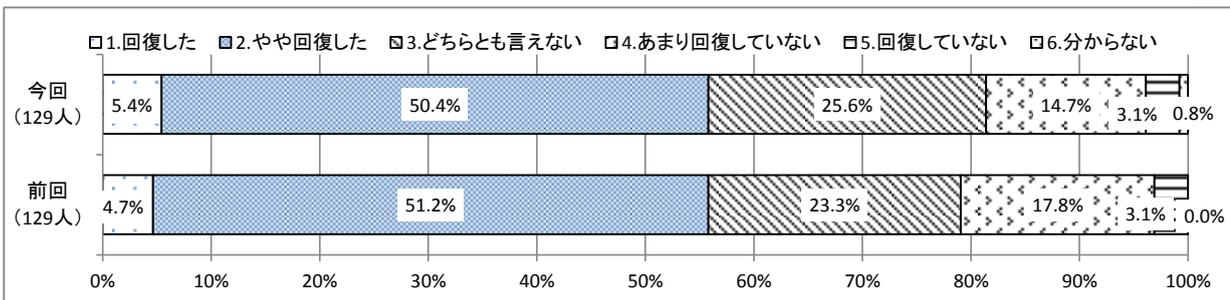
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった（沿岸北部59.5%、沿岸南部47.3%）。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で75.7%と前回（78.1%）を2.4ポイント下回ったが、沿岸南部では48.4%と前回（45.5%）を2.9ポイント上回った。

○直近3ヶ月の回復の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が56.3%と前回（49.2%）を7.1ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は22.7%と前回（25.0%）を若干下回っている。

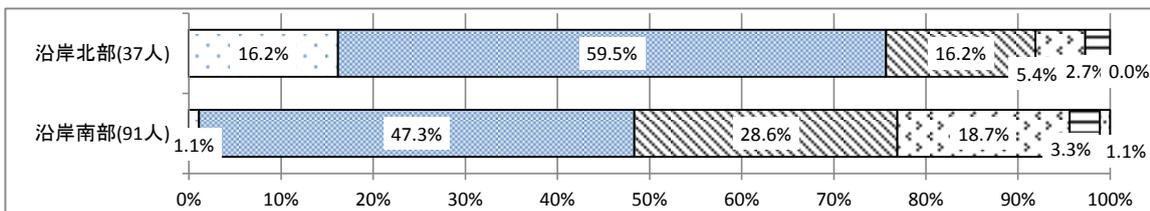
新築や公営住宅への転居が増えたという前向きな声がある一方、緊急雇用対策終了への懸念や今なお仮設住宅に住む方々を心配する声もあった。

#### ① 被災者の生活の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

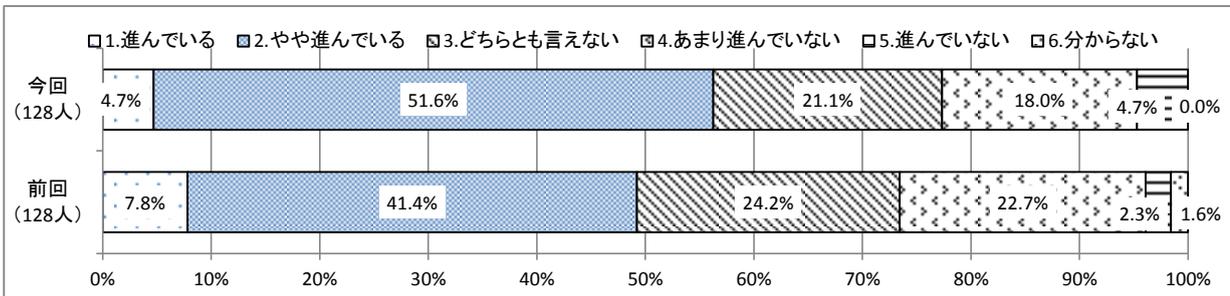


#### 地域別

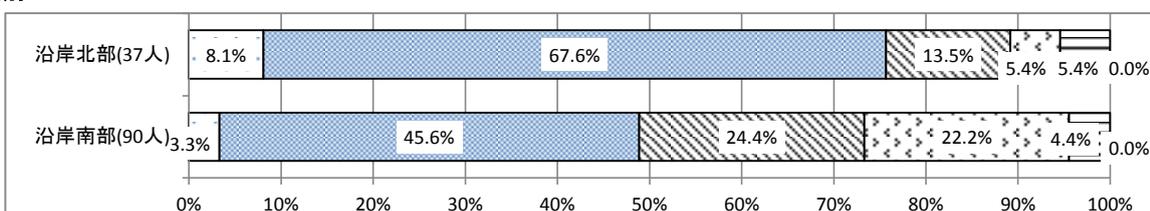


#### ② 直近3ヶ月間(概ね3月から5月)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月間程度)被災者の生活の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.回復した」 又は 「1.進んでいる」 の理由	<p>◆生活的に苦しい方は、まだまだ、たくさんいらっしゃると思いますが、日々の生活は普通に送れるようになってきていると思います。ただ、長い目で見ると、住宅再建資金等、苦勞されていると感じます。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p>
「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由	<p>◆災害公営住宅の建設・入居募集も始まり、一定のめどがたつたように思えるが、希望の住宅に入居できるかどうか不安に思っている方も多い。入居後、地域の人になじめるか、御近所付きあいはいまよくいかなど、入居後を心配する声も聞かれる。今は入居時期を目標に生活を送っていらっしゃるという感じだ。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆日常生活は皆さん元気に前向きになった感じ。心に悩みはあっても表には出さなくなりました。それだけ明日への希望を持ち始めたと思います。ただ、再建を始めても、資材不足と人手不足とで、手を付けてから1年以上も放置されているのを見たり聞いたりしています。被災地再建とオリンピック工事が重なりますが、とても心配です。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆高台移転や災害公営住宅の建設・入居も少しずつ進んでいるように思える。雇用に関して言えば、人手が足りないという話をよく耳にします。なにか理由・原因があるはず。 (40歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆漁業は、希望した船が希望した人へ、85名近くまで購入する事ができ、うに漁に出漁している。住宅関連の復興・区画整備事業も6月から本格的な工事が実施され、防集高台移転事業は6月に宅地の申込み説明会、7月には募集が始まる。(60歳以上、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆緊急雇用で働いていた人達は将来を考え、正規雇用の求人を探しているが、なかなか無いのが現状。事業所側は将来の見通しが立たず、正規雇用を控えており、それぞれの思いを理解できるだけに複雑な思いでいる。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆復興住宅も完成し、仮設住宅に空家が目立つようになり、一步一步、居住に関しては回復してきていると感じる。ただし、雇用はがれき処理の仕事が終了し、職場を探している方々が多く居るとの話は聞くが、雇用のミスマッチなのか、依然として福祉関連の職員が充足しない状況。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆普通の生活に支障はなく、人の心にもおだやかさを感じる。積極的に動こうという主体性があらわれてはいる。ただ、個人的な事柄がまずはじめにきていて、「皆の為に何か…」という震災直後のようなものとは違う。コミュニティとしてのまとまりが図れず、モチベーションが下がってきている傾向が見受けられる。(50歳台、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆住環境が安定してきている家庭が増えている中、未だ仮設住宅等で生活している家庭の精神面での安定が最重要課題ではないかと考えています。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆復興住宅に入居した方々は元気をとりもどし、これから先の生活にも意欲的であるように見えるが、仮設住宅に引き続き入居されている方は、日常生活にあまり変化はなく、将来への希望を見出せない方も少なくないようだ。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆震災後に一気に出された緊急雇用求人、一時、雇用面も安定したように思えた時期もあったが、緊急雇用求人が終了したこれからこそ、見えてくる問題があるのではないかと心配している。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、女性)</p> <p>◆学校関係の状況に変化がない。工事関係車両増加への安全対策としてスクールバスの対応をとっているが、運転手不足でバスの減便を余儀なくされている。子どもたちの安全を守りたい！(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆漁業による水揚げは出来ているが、借金を返せるほど順調になってない感じです。食べるだけで、いっぱいいっぱいです。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)</p>
「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆防災集団移転に伴う造成工事が、27年度後半以降になると言われている。移転希望者のなかには、遅くなればなるほど資材や大工賃、消費税アップなどで建てられなくなるのではと、不安を持っている人たちがいる。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆仮設住宅生活も3年となり、室内のカビ等の発生など、住環境は悪化していると感じる。精神的に病んでいる人が今は増加傾向にあるのではないかと、精神面への支援はきめ細やかに行う必要があると思う。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>
「5.回復していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由	<p>◆高台移転の進行がみられない。学校等の建設も進んでいるようには思えない。(60歳以上、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連： 急急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連： 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連： 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(2) 地域経済の回復に対する実感

○地域経済の回復度については、「回復した」「やや回復した」の合計が55.9%と前回(46.9%)を9.0ポイント上回り、「あまり回復していない」「回復していない」の合計は13.2%と前回(19.2%)を6.0ポイント下回った。

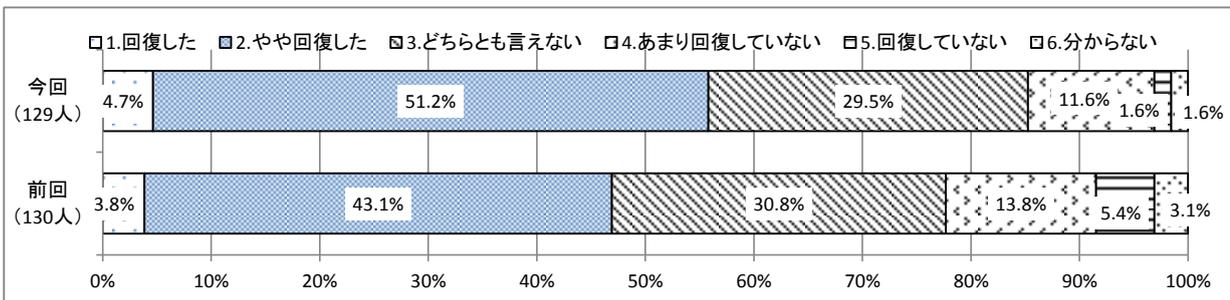
○地域別では、沿岸北部・沿岸南部ともに「やや回復した」の割合が最も高かった(沿岸北部51.4%、沿岸南部50.5%)。「回復した」「やや回復した」の合計は、沿岸北部で64.9%と前回(56.1%)を8.8ポイント上回り、沿岸南部では51.6%と前回(42.6%)を9.0ポイント上回った。

○直近3ヶ月の回復の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が46.6%と前回(43.9%)を2.7ポイント上回り、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計は16.3%と前回(20.0%)を3.7ポイント下回っている。

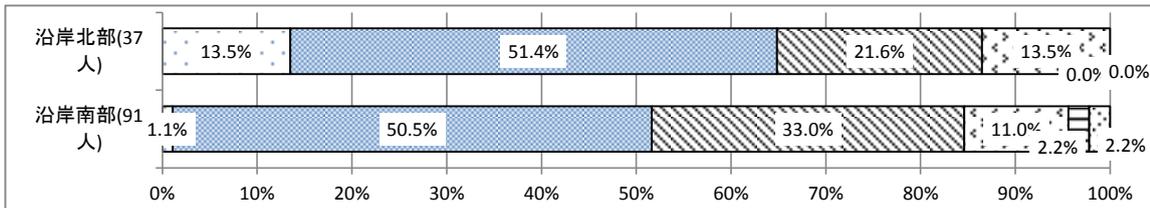
大型店進出による雇用・消費拡大への期待や水産業の好調を前向きに評価する声がある一方、魚価の低迷や消費税の影響、仮設商店街の将来を不安視する声もあった。

#### ① 地域経済の回復度(震災以降における全体の回復状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、地域経済は被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

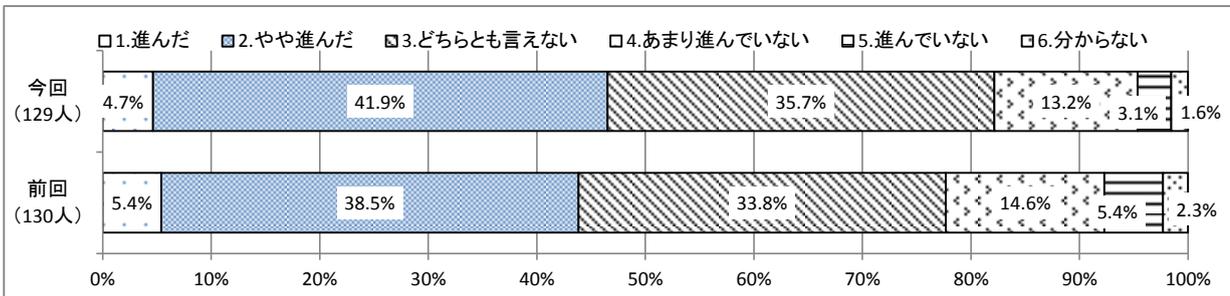


#### 地域別

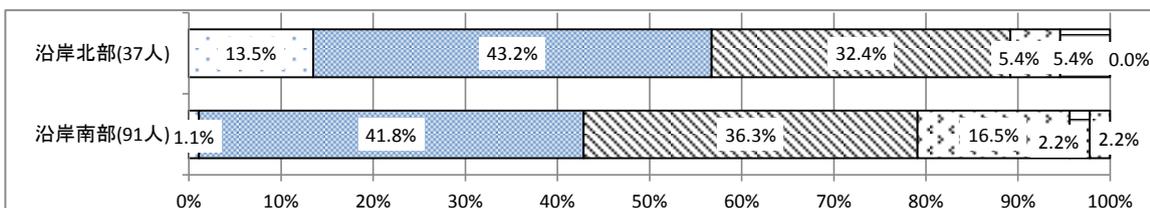


#### ② 直近3ヶ月間(概ね3月から5月)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月程度)地域経済の回復の進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 回復度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
「1.回復した」 又は 「1.進んだ」 の理由	<p>◆あまちゃん効果や各方面からの支援により、この地域の経済活動は良い方向で進んでいると思われます。しかし、5年後10年後のこの地域の経済ビジョンをしっかりと今のうちに考えておく必要があると思います。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、女性)</p>
「2.やや回復した」 又は 「2.やや進んだ」 の理由	<p>◆水産業、特に養殖ワカメ、コンブは震災前に戻りつつある様に見える。ただし、販路の縮小や風評被害など、新たな課題も出てきている。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆土地も建物も借りて営業していたので、グループ補助金を受けられず、今は、おかげさまで仮設店舗で営業しておりますが、自力再建するには、目処がたたないでいます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆大型スーパーが建ったり、水産加工場が建ったりと、雇用やショッピングの楽しみ等、明るい話題である。地元の若手事業主が結束して、ふるさとを守ろうとする活動をしている姿を見る機会があった。このような動きを小・中・高校生に見てもらいたいと思った。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆復興関連の業者向けの宿泊施設や量販店、飲食業の店舗が増加し、回復して来ていると思われるが、数年後、復興に目処が付き、関連業者が撤退した後の地元経済が衰退するのではと不安になる。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆グループ補助金等の活用により、企業再建は進んでいる。大型店舗が開店し、街にも活気が見られる。ただ、「雇用のミスマッチ」による人手不足が続いており、十分な生産能力を発揮できず、店舗の営業時間を短縮して対応している状態で、困っている。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆カキ養殖が軌道に乗り、昨冬からカキ生産が復活、浜に活気が甦ってきた。山田魚市場で4年ぶりの「山田カキ祭り」が盛大に開催された。水産復興の幕開けとして、喜ばしい。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆被災水田の基盤整備も進み、今年から水稲の作付が出来ると楽しみにしていたが、4月末に55%もの水田に作付出来ないと知り、県に対して不信感を持っている。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆港の整備は進んでいる。魚が安い、安すぎる。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p>
「3.どちらとも言えない」 の理由	<p>◆農業、漁業ともに回復しているようだが、商店・飲食店が苦戦、特に仮設商店街のお客様が少ない。以前のように飲食店にもぎわいはない。ボランティアの方々も今はほとんどいなくなった影響か？建設の皆さんがひきあげたら、商店街、飲食店はどうなるのか不安。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆漁業は全般に低水温のためか養殖漁業も成長が良くなく、単価も前年より安く、漁船も出漁していない状況。(60歳以上、産業・経済・雇用関係、沿岸南部、男性)</p> <p>◆企業や漁業関係の努力で回復してきたと言えると思う。この3ヶ月は、消費税の引き上げもあり、どうなのかわからない。(40歳台、産業・経済・雇用関係、沿岸南部、女性)</p> <p>◆経済の復興は徐々に見えてはきたが、50代以上の失業者も多く、経済的に困窮している被災者も増えてきている。特に、高齢者世帯の生活感に暗さが見え、二極化が進み、回復の評価が難しい。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆仮設店舗からの移行の時期や場所・資金について不安に感じているといった話を耳にすることがたまにある。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆内陸まで出かけていた人たちが沿岸にできた大手スーパーを利用している話をよく聞く。半面、仮設商店などの客数やこれからのことなどが問題。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>
「4.あまり回復していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由	<p>◆漁業に関しては、魚価安に加え、冷水による不漁で最悪で感じます。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆消費税増税後の4月以降、明らかに消費者の財布がきつくなった。3月と4月では、お客様の来店数、売上が減っている。これで来年10%に増税になった時、どのくらい反動がでるのか、被災地にとってやはり増税は厳しいものがある。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>
「5.回復していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由	<p>◆支援などにより求人等はたくさんあるが労働者が足りない状況で歪みが生じていると思う。(60歳以上、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連： 応急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連： 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連： 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用支援機関の関係者、金融機関の関係者など

### 3 調査結果の概要(3) 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

○安全なまちづくりについては、「達成した」「やや達成した」の合計が23.3%と前回(19.6%)を3.7ポイント上回り、「あまり達成していない」「達成していない」の合計は45.7%と前回(45.3%)と同水準であった。

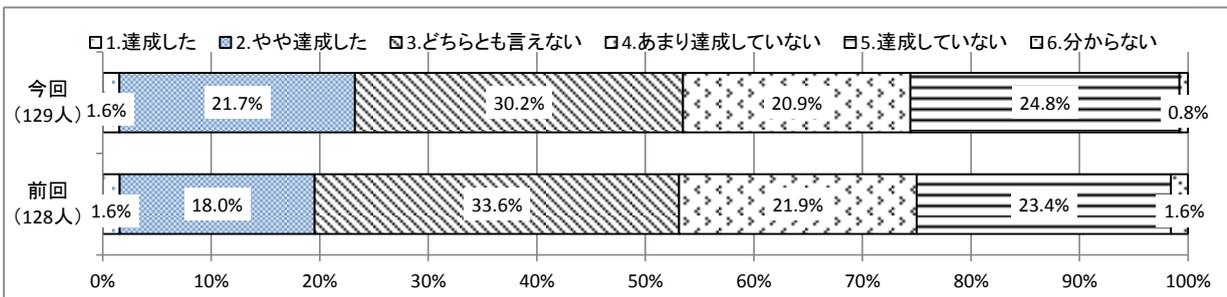
○地域別では、沿岸北部が「やや達成した」が43.2%(前回は37.5%)と最も高く、続いて「どちらとも言えない」が32.4%(前回は32.5%)となっているのに対し、沿岸南部では「どちらとも言えない」(前回は34.1%)と「達成していない」(前回は31.8%)が、いずれも29.7%で最も高かった。

○直近3ヶ月の進捗状況を見ると、「進んでいる」「やや進んでいる」の合計が32.8%と前回(30.2%)を2.6ポイント上回ったが、「あまり進んでいない」「進んでいない」の合計も41.5%と前回(39.6%)を1.9ポイント上回っている。

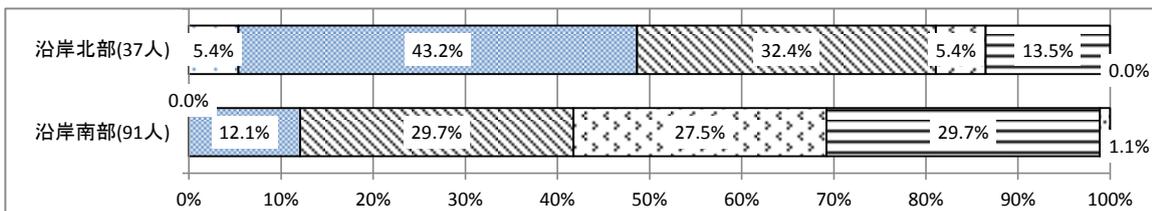
防潮堤等の復興工事の進捗を前向きに評価する声がある一方、早期復旧を望む声も多く、また、工事の内容等が住民に十分伝わっていないといった声もあった。

#### ① 災害に強い安全なまちづくりの達成度(震災以降における全体の達成状況)

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは、被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

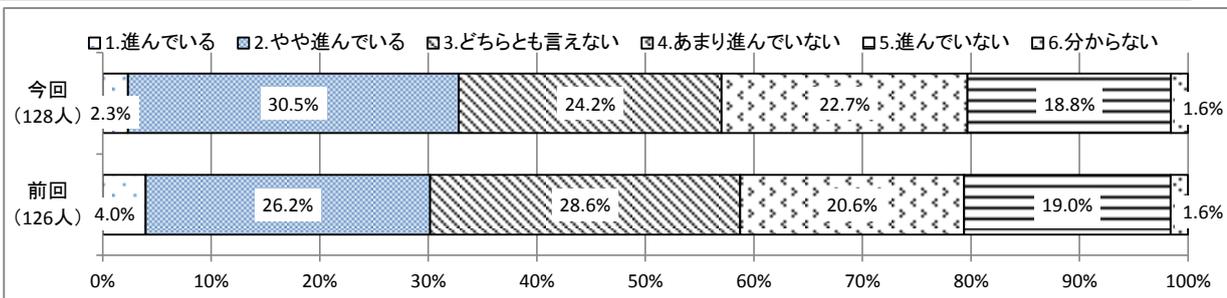


#### 地域別

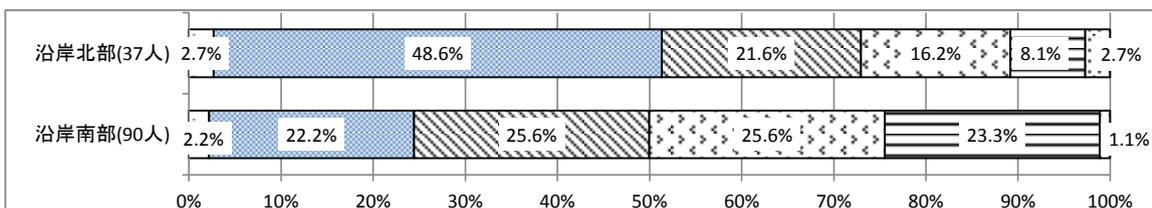


#### ② 直近3ヶ月間(概ね3月から5月)の進捗状況

【設問】 あなたの周囲をご覧になって、最近の(3ヶ月程度)災害に強いまちづくりの進み具合は、どの程度と感じますか？



#### 地域別



\* ( ) 内は回答者数を示す

③ 達成度(①)、進捗状況(②)に関する回答理由など[自由記載]

区分	理由(要旨)
<p>「2.やや達成した」 又は 「2.やや進んでいる」 の理由</p>	<p>◆復興・復旧の計画が進んできている。三陸道・三鉄小本駅の着工、集団移転用地の造成開始、小本小中学校新築の入札、びーちゃんネットの利用開始。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆震災を機にハード面に頼るだけでなく、「何かあったらすぐ逃げる」という一人一人の意識も高くなっていることから、ソフト面の災害に強い安全なまちづくりにはつながっていると思う。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆防潮堤や復興道路等の建設は毎日進んでおり、スピード感がある。ただ、生活に直結する下水道や歩道等の身近な事については、整備不十分だと感じる。雨水が道路に溢れ、高潮の際は下水の排水が悪く、歩道は凸凹状態で歩きにくい。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆防災放送などを活用して、工事の目的や避難方法など、住民への周知徹底がなされ、理解を得た上で進めてほしいです。文書での周知には限界があると感じています。(39歳以下、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆漁港の嵩上げや整備は進んでいる。(39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部、男性)</p>
<p>「3.どちらとも言えない」 の理由</p>	<p>◆まだ公民館がない＝地域に避難所がないので、大災害が起こったとき避難生活をする場所がない。(50歳台、産業・経済雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆嵩上げの為に土台基礎撤去がよいは始まった感じがします。仮設長屋店舗で営業しておりますが、嵩上げの時がきますと、移転となります。移転先は国道を渡った海側の場所との事。これからは復興工事の大きな車が多く走ると思いますので、高齢者や子供が国道を渡って買物に行くのは非常に危険と考えます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆ようやく防潮堤の工事の話を知りました。早く住民のみなさんを安心させてもらいたいです。(40歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆堤防工事が進んでいますが、どこまで工事をするのか全く分からないとの声を聞きます。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸北部、男性)</p> <p>◆仮設住宅のコミュニティの変化や高台移転等地域の再構築の都度、防災方策を考えていかなければならない。(40歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、男性)</p>
<p>「4.あまり達成していない」 又は 「4.あまり進んでいない」 の理由</p>	<p>◆防潮堤の工事が始まっていますが、まだ形が見えてきません。安心して生活する為に早く防潮堤の工事が進むこととあわせて、河川の堤防の工事が始まることを望みます。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆浸水地区に土を盛って高くしても危険なことには変わりない。避難路をはっきりと分かりやすく知らせること、経路をたくさん作っておくことが必要だ。防潮堤を高くし過ぎて海が見えない状態になることが、逆に危険であると感じる。住民の危機意識を高め、個々が安全に避難できるようなまちづくりを望む。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆防潮堤＝災害に強い安全なまちづくり、なのか…と常に思う。仕事で高齢者を車に乗せ、沿岸線を走行している時、もし津波が来たらどこにどう避難したらいいのか、わからない。ハード面だけでなく、地域の情報を掲示してほしい。高齢者や障がいを持った方が安全に避難できる場所を作ってほしい。(50歳台、教育・福祉施設関連、沿岸南部、女性)</p> <p>◆工事の進捗状況が住民に周知されていない。何の工事に着手しているのか、行政の広報誌にも記載が少なくなってきた。(50歳台、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p>
<p>「5.達成していない」 又は 「5.進んでいない」 の理由</p>	<p>◆町の対応が遅い(避難所・物資・福祉避難所)。震災を経験したにもかかわらず、何も対応されていない。今、震災が起きたら…ゾッとする。(39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆道路に避難誘導標識がない。また、防潮堤の高さを表示する表示塔が危険箇所を設置されていて、住民に理解してもらうために設置しているとは思えない。本当に安全なまちづくりをしようとしているのか疑問さえ感じる。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆大震災では、津波被害箇所の確認・査定が優先され、地震被害が把握されず見落とされている。昨年までの降雨により崩落し、地震によるヒビ等、被害箇所があぶり出されて来ているが、復旧工事には至っていない。被害の規模が広がらなければ良いが。(40歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸南部、男性)</p> <p>◆安全なまちづくりと住民の安全の確保を目指している事はわかりますが、何時着手して、何時完成するのか、目に見えません。住民が納得いく確実な説明をして下さい。(60歳以上、地域団体・郵便局関連、沿岸南部、男性)</p>

注1) 「理由(要旨)」は、趣旨を損なわない範囲内で要旨を記載しています。

注2) 「区分」別の「理由(要旨)」数は、区分の回答比率に概ね準じています。

注3) 掲載内容は、同旨意見の多かった内容や回答者の専門的視点に基づいた内容等を記載しています。

[凡例] 地域団体・郵便局関連： 急急仮設住宅の自治会、地域づくり団体等の関係者/郵便局の関係者など  
 教育・福祉施設関連： 小中学校・高等学校の教員/福祉施設の関係者など  
 産業・経済・雇用関連： 漁業・農業従事者、就業支援員等雇用手援機関の関係者、金融機関の関係者など

平成26年【第2回】  
「いわて復興ウォッチャー調査」  
結果報告

発行

平成26年6月23日

岩手県

復興局 復興推進課

〒020-8570

岩手県盛岡市内丸10-1

電話(019)-629-6945

ホームページ：岩手県震災復興・復興の動き

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/>